

# 議会ニュース

10月14日から17日にかけて、8名の議員が道外行政調査視察を行い、第4回定例会において報告がなされました。  
(掲載内容は報告書を要約したものです)

・道外行政調査  
視察研修報告①

## 道外行政調査・視察研修報告

### 秋田県藤里町社会福祉協議会

【調査項目】  
◎福祉施設「こみっと」  
事業化の取組みについて

「こみっと」ができる井

● 地方では就職難で長期間職に就けない普通の若者がひきこもり状態になっている。  
● 就労支援や機能訓練、地域の人たちとの交流の場「こみっと」を立ち上げるため、地域で孤立する人たちのニーズを把握しようと訪問調査を行った。

● 調査の結果、113人が、仕事につけないなどひきこもり状態であることが明らかになった。

● この事業は、ひきこもりの解決を目指すものではなく、福祉の立場であくまでもお手伝いをすることを目的としている。

● 施設は、県の発電施設を町が購入し、社会福祉協議会に無償貸与してもらった。



● 総合相談体制として、各関係機関・職種が連携を図り、報告・連絡・相談用紙を活用し、様々な相談等を実施。平成25年度の件数は、7002件となっている。

● 「こみっと」に登録してもらい、週1回のレクリエーション活動、パソコン等の操作訓練、お食事処での就労訓練、白神まいたけキッシュでの就労、こみっとバンク(人材派遣)としての地域での活動を行っている。

● 生活困難者への情報提供として、通信の配達、こみっと

### 藤里町 (ふじさとまち)

(秋田県山本郡)

人口 3,709人

平成26年3月末

面積 281.98



福祉施設「こみっと」

「こみっと」の事業

● 同じ敷地には、宿泊室を備えた自立訓練(生活訓練)事業所(くまげら館)も併設され、自立した日常生活、社会生活を営むことができる場が設置されている。



お食事処「こみっと」のメニュー

# 議会ニュース

・道外行政調査  
視察研修報告②

各事業への誘い、求職者支援事業等への誘いを行っている。

支援の特徴

- 居場所づくり、活動の場づくり
- 自分でできる形での参加
- 支援する者、される者の区別をつけない
- 選択、自己決定のための体験の場づくり

支援の効果

- 求職支援事業では、平成22年度からの4年間で、66名の受講があり、内50名が就職につながっている。
- こみっとに登録し、地域住民との交流の場が増えるほどに理解者、支援者が増加している。

- 一般就労率の高さ
- 地域福祉活動への貢献
- 地域活性化への貢献

今後の取組み

- 生活困難者の力を地域づくりに生かす事業へ
- 社協独自の社会復帰訓練カリキュラムを作成し、3カ月実施し、地域づくりに活用

(葬儀社、居酒屋など多種多様な講義、実習を実施)

【調査を終えての所感】

就労支援を通じて、地域づくり、地域の力を生かす小さな町の取り組みは、「藤里方式」と呼ばれ、全国的に注目され、ひきこもりのイメージにとらわれず、担当者のリーダーシップ、発想の転換により、地域住民のつながりの中で、ニーズを拾い上げ、事業を推進している現状には目を見張るものがありました。

本町の状況としては、詳細を把握しておらず、現状は不明となっておりますが、実態の把握、専門職の確保、地域との連携・協力などを含め、課題が多いものと考えますが、発想の転換を図り、地域



「こみっと」に隣接する「くまげら館」

## NPO法人ロジナンテス

### 東北事業部

【調査項目】  
◎東日本大震災  
復興活動について



NPO法人ロジナンテス  
東北事業部の概要

- 平成23年3月に発生した東日本大震災において、法人理事長が医師として医療活動に駆け付け、その後、被災住民の復興支援活動を行うため東北事業部を設立した。
- 現在、スタッフ7名で、「ひとりみんなの為に」みんなはひとりの為に」を哲学に、宮城県南部(名取市・岩沼市・亘理町)を中心に、学習支援活動、健康農業事業、

被災地コミュニティ支援活動を行っている。

- 復興のための現地ボランティア受入、学校単位での現地見学の受入などを行っており、現地ボランティアについては、現在でも夏季期間にかなりの人数を受入している。

学習支援事業(寺子屋)

- 仮設住宅における子供たちの学習環境の改善などを図るため、平成23年6月より名取市(上(ゆりあげ)地区、12月より亘理町において、小学校の児童生徒を対象にした寺子屋を開設し、被災地の復興を担う学習支援を実施している。

- 定員はおおむね30名程度

亘理町  
(わたりちょう)

(宮城県亘理郡)

人口 33,931人

平成26年3月末

面積 73.21

# 議会ニュース

・道外行政調査  
視察研修報告③



サツマイモの収穫をするお年寄りたち

で、開設してから3年が経過したが、今も仮設住宅で暮らす方はもとより、既に退去した方からも強い継続要望が上がっている。

### 健康農業事業

●仮設住宅に入居している高齢者が、みんなで農作業に汗を流し、ご飯を一緒に食べる取組みを平成25年1月より始め、現在は、さつまいも、豆類、野菜などの植え付け、収穫などに毎週50名程度が参加（スタッフが仮設住宅へ車にて送迎）し、高齢者の生きがい対策、健康管理、外出支援として行っている。

●当初は、厚生労働省の補助事業として行っていたが、平成26年度から百理町の委託事業として行っている。

業として実施されている。被災地コミュニティ支援事業

### 業（閉上復興だより）

●津波による甚大な被害を受けた名取市閉上（ゆりあげ）地区の支援として、自分たちの町のことも復興計画、住民に伝えたいことを掲載した閉上復興だより（月1回発行）の発行をサポートしている。

●閉上地区の心のよりどころであった神社が津波で流されたことから、神社建立を支援し、平成25年6月に完成。地域住民によるお祭りを開催した。

●スーダンで支援している関係から、スーダンの子供たちを招待し、閉上スーダン大運動会を開催し、将来の復興を担う子供たちの交流を図っている。

### 【調査を終えての所感】

東日本大震災発生から3年半以上が経過する中、震災の風化が叫ばれておりますが、震災発生当時から一人はみんなの為に、みんなは一人の為に」を理念に地域に根ざした活動を行っており、特に健康農業事業については、高齢

## 埼玉県滑川町

### 【調査項目】

①子ども医療費の

無料化について

### 事業化までの経緯

●全国的に少子化が進む中、滑川町は、東武東上線沿線の住宅開発による若い世代の転入者増加などを背景に、出生数が増加し、また、子育て世代の転入も多くなりました。第4次滑川町総合振興計画の少子化対策として、子育て世代の経済的、心身的な負担を少しでも軽減する施策として、「滑川町こども医療費支給事業」を展開している。

### 事業の内容

## 滑川町

(なめがわまち)

(埼玉県比企郡)

人口 17,616人

平成26年3月末

面積 29.71

### 滑川町こども医療費対象児童

対象年齢	入院・通院 ～ 満18歳に達した後の最初の3月31日まで (就職・婚姻等で保護者の扶養を外れた児童は対象外)
所得制限	なし
自己負担	なし
食事助成	あり(生活療養費は対象外)

※ひとつの医療機関（総合病院は1診療科目）の入、通院別で、月額2万1000円未満。2万1000円以上の場合、従来どおり保護者による窓口払い（償還払い）  
※助成の対象は保険診療分のみで、保険診療外の診療等については、対象外

●平成20年4月より、対象を中学校終了前までの生徒に拡大し、さらに平成23年4月より、満18歳を迎えた最初の3月31日までの生徒へ対象年齢





# 議会ニュース

・道外行政調査  
視察研修報告④

支給額の状況

●平成25年度の支給額は、7906万円となっており、平成24年度と比較し、243万円の増額となっている。平成26年度の推計では、約8845万円となる見込みで、平成25年度に比べ約1.12倍となる。

●増加の要因としては、対象者の増加（出生・転入等）及び制度がより周知され、医療機関を利用しやすくなったことが挙げられている。

今後の取組み

●多くの子育て世代からは好評を得ているが、医療費が増加していることから、健康づくりの推進、適正利用などの

**【調査項目】**  
◎学童保育などの子育て支援事業への取組みについて

啓蒙を行っている。

学童クラブの歩み

●平成8年3月  
個人宅に学童保育所設置

平成8年5月

開所（町からの補助）

平成11年3月

子育て支援センター開所

平成19年4月 学童分離

（第2学童 仮の施設）

平成22年4月

月の輪小学校開校と同時に3つの学童クラブ開設

●平成22年度より、学童保育運営協議会を設立し、各父母会運営であった組織を一本化し、受入や保育の実施、会計等を協議会で実施

●月の輪小区の学童増加に伴い、平成23年度より第4学童、さらに平成25年度より第5学童わくわくクラブ開設

●平成24年11月、白い馬保育園開園（社会福祉法人運営）と同時に併設して、白い馬っ子学童クラブ開設（校区指定なし）

学童クラブの運営

●町が設置した5カ所の学童クラブについては、滑川町学童保育運営協議会へ委託している。

●白い馬っ子学童クラブは、社会福祉法人白い馬会が運営している。

●平成26年度運営事業費は、2949万円となっており、うち1800万円は国や県からの補助金で賄われている。

学童クラブの保育料

●世帯の状況や学年、兄弟の有無によって4000円から

**【調査項目】**  
◎学校給食費の無償化について

1万2000円に区分されている。このほか、おやつ代として1人3000円が必要となっている。

無償化の背景と経緯

●区画整理事業の完了や東武東上線新駅開設に伴い、新たな子育て世代の転入が多く、町全体においても子育て家庭が急増し、子育て環境の改善、充実のニーズが高まってきていた。

●このような状況のもと、家庭における教育関連経費について、その経済的支援の観点から町が独自で取り組みが可能であり、最も効果的な支援策として、町長主導のもと、平成22年度より企画検討を開始し、平成23年4月より実施している。

事業の目的

●子育て家庭への経済的支援を主目的に、第4次総合振興計画に位置付け、義務教育だけでなく、幼稚園、保育園等までに範囲を広げ、より多くの子育て家庭が可能な限り平等公平に経済的支援が受けられるように設定した。

取組み内容

●無償化の対象範囲  
・町立の幼稚園、小学校、中学校に通う園児、児童、生徒



滑川町役場で説明を受ける

# 議会ニュース

・道外行政調査  
視察研修報告⑤

- 町立以外の幼稚園、小学校、中学校に通う園児、児童、生徒
- 私立幼稚園に通う園児
- 公立及び私立保育園に通う園児
- 無償化の条件
- 原則、対象となる園児、児童、生徒が滑川町に住所を有していること。
- 幼稚園及び保育園の園児については、公立、私立を問わず、3歳から5歳まで
- 園児、児童、生徒の保護者については、所得額や町税等の町債務に対する滞納状況は勘案しない。(保護者に対する要件は設定しない。)
- 無償化の金額
- 町立幼稚園(3歳)  
牛乳費相当額(平成25年度は、年7084円)
- 町立幼稚園(4〜5歳)  
園児1人当たり3200円×10カ月
- 町立小学校  
児童1人当たり3800円×11カ月(1年生は10.5カ月)
- 町立中学校  
生徒1人当たり4400円×11カ月(3年生は10.5カ月)

- 上記以外の保育園、幼稚園、小中学校等
- 各園、学校の実際の給食費相当額(ただし、町の幼稚園、小中学校の月額を上限とし、3歳児は町牛乳費相当額を上限)として補助金を交付
- 無償化の事業費
- 平成25年度決算において  
は、支出額1億5988万円(食材費7964万円、加工運搬費7592万円、補助金432万円)となっており、これに係る減免見込額は、7849万円と推計している。
- 滑川町は、給食施設を保有しておらず、調理、配送については、すべて業者へ完全委託(加工運搬費)としている。

**【調査を終えての所感】**

滑川町は、東武東上線の新

駅開設や閑越自動車道のインターチェンジ設置により、都心まで約1時間という利便性から自動車関連企業の進出、住宅地開発などから、子育て世代を中心とした転入者・出生数が増加し、人口増となっ

ており、一般会計に占める町税の割合は、平成26年度当初予算において、約51%と自主財源に恵まれている。

こうしたことから、少子化対策、子育て世代への経済的・心身的な負担軽減を図る政策として、町長主導のもと、各種独自事業が推進されている。

各事業の取り組みについては、滑川町の先進性・独自性に対し、好評を博しているが、こども医療費の増加や給食費無償化の負担増などに伴う財政負担も懸念されており、さらに医療費の抑制や適正利用なども課題となっている。

学校給食無償化の対象となる保護者の所得額や町税等の債務等に対する滞納状況は、子育て家庭への経済的支援を主目的とすることから勘案しない点については、本町と相違を感じさせられた。

少子高齢化の進展に的確に対応し、人口の減少に歯止めをかけるとともに、地域で住みよい環境の確保を目指し、各自自治体において、様々な施策が行われておりますが、滑川町においては、子育て世代などの増加に伴う自主財源を

議会を傍聴してみませんか!!

第1回定例会は3月に開催されます

詳しくは議会事務局にお尋ねください



# 議会ニュース

・ 常任委員会現地調査

## 常任委員会 現地調査を実施

### 総務福祉 常任委員会

12月1日総務福祉常任委員  
会終了後、現地調査を実施し  
ました。

#### 現地調査箇所

- ・ 西富公民館
- ・ 特別養護老人ホーム  
西富公民館については、老  
朽化していることから、トイ  
シの改修、暖房器具、照明器  
具の取りかえ、外壁の補修、  
塗装などを実施し、施設の長  
寿命化と利便性の向上が図ら  
れ、自治会の集会施設、さら



西富公民館で説明を受ける

には地域住民の憩いの場とし  
ての活用が図られるものと思  
います。

特別養護老人ホームについ  
ては、計画的にボイラーの改  
修、監視カメラの更新などを  
行っており、本年度の屋上防  
水工事実施により、さらなる  
施設の延命化、入居者及び利  
用者の利便性が高まり、安全  
で安心した生活の確保が図ら  
れました。



更新された特養のリフト車

また、リフト車の更新に伴  
い、利用者が快適に、安心で  
安全な輸送サービスが受けら  
れるものと思えます。

## 産業文教 常任委員会

12月2日産業文教常任委員  
会終了後、現地調査を実施し  
ました。

#### 現地調査箇所

- ・ 佐呂間中学校
- ・ 西富団地

佐呂間中学校については、  
家庭科被服室及び器具庫を技  
術室への改修、職員トイレの  
洋式化、また体育館の暗幕を  
電動化したものであり、事業  
実施に伴い、適正な施設の管  
理運営で快適な職場環境の充  
実、安全、安心な教育環境の  
充実が図られたものでありま  
す。



佐呂間中学校で説明を受ける

なお、職員トイレの洋式化  
は、佐呂間中学校が初めてで  
あることから、今後他の学校  
についても計画的に改修され  
ることを望むものでありま  
す。

西富団地外壁等改修につい  
ては、公営住宅の長寿命化計  
画に基づき、平成31年までの  
6年計画で改修を行うもので  
あります。



平成31年度まで改修が続く西富団地

本年度は計画の初年度とし  
て3棟12戸、外壁、サッシ、  
換気扇などの改修を行ったも  
のであり、入居者の住環境の  
改善が図られたものでありま  
す。今後においても、計画に  
基づき適正な維持管理を望む  
ものであります。